

今週の話題

ニューイングランドのベンチャー企業

私がニューイングランドで仕事をするようになってから早いもので13年がたってしまいました。当初は大手プリント基板メーカーの一員でしたので、客先となるような会社もほとんどが大手企業でした。独立してしばらくも、同じようなビジネス感覚でいたせいか、クライアントも大手か、国際的に名の通った企業ばかりを相手にしていました。ところが、2001年のITバブル崩壊以降の米国プリント基板市場は縮小するばかりで、大手企業が姿を消していきました。気が付いたら、残っているクライアントは中小のベンチャー企業ばかりで、それもニューイングランド地区に拠点を置く会社が過半数となっていました。

ベンチャー企業といっても、日本の皆さんが普通思い描くようなシリコンバレーのサクセスストーリーを持つIT企業とはかなり様子が違いますので、ちょっとその内容をご紹介してみたいと思います。これらの企業の多くは従業員20~30人くらいの規模で、大きくても100人足らずです。ただ、どの会社も何がしかのユニークな独自技術を持っています。例えば、精密なエッチング加工技術、超微細レーザー加工技術、エレクトロフォーミング技術などです。また、二次元放射線検出技術、フレキシブルセンサー技術などのデバイス技術を持っている会社もあります。

これらの企業に共通しているのは、カリスマ的なリーダーがいることです。だいたい創業者兼主任技師というような立場で、営業技術的な役割も兼ねています。これらのベンチャー企業はすでに何社かの顧客を持っていて、定常的にビジネスをこなしています。結果論になってしまうかもしれませんが、独自の技術を持ったエンジニアが、顧客を見つけて独立し、少しずつ事業を拡大してきたというようなケースが多いように感じます。

現業のビジネスを持っているので、まずは毎日の注文をこなすことにエネルギーを費やしています。しかし、技術のアップグレードや新規の顧客獲得にもかなりのエネルギーを使っています。会社のリーダーは、ユニークな技術といえども、常に改良、改善をしていないと、独自性を維持できないと考えているようです。ただ、ベンチャーキャピタルからまとまった資金を調達して、一攫千金をねらった大きな事業展開などは考えていないようです。シリコンバレーのベンチャー企業が、まず自称ユニーク技術を元にベンチャーキャピタルから大きな資金を調達して、派手なパフォーマンスでデビューし、結局はしりつぼみで終わってしまうのとは好対照といえるでしょう。

このようなビジネスカルチャーが出来てきた背景には、MIT（マサチューセッツ工科大学）の役割が大きいと思います。ボストンではハーバード大学のM

BAも有名ですが、こちらはあまり貢献していないようです。またニューイングランドには、医療機器産業や航空宇宙機器産業が発達していることも、これらのベンチャー企業が活躍できる土壌があるといえます。これらの産業は、大化けはしませんが、常に技術革新を求め、しかるべき技術には相応の対価を払います。

アメリカの製造業は斜陽といわれますが、今回紹介したようなニューイングランドのベンチャー企業は生き残っていくことでしょう。日本のプリント基板メーカーの皆さんに参考にしていただければ幸いです。

DKNリサーチ
沼倉研史（マネージング・ディレクター）

今週のヘッドライン 2012年2月12日

1 . DisplaySearch (米国の市場調査会社) 1 / 3 0

世界のテレビ用液晶ディスプレイ市場は、2018年には1億16百万平方メートルに達すると予測。画面の大型化が進む。

2 . Pacific Media Associates (米国の市場調査会社) 1 / 3 0

2011年における世界のデジタルプロジェクタの市場は1千万台近く。アジア地区は二桁成長。

3 . ABB (スイスのエンジニアリング会社) 1 / 3 0

米国の電子部品メーカー大手のThomas & Betts社を39億ドルで買収する事で合意。低電圧製品の市場での存在を目指す。

4 . IBM (米国) 1 / 3 0

カーボンナノチューブを使って、大きさが10ナノメートル未満のトランジスタを形成。将来シリコンのトランジスタに置き換わる可能性。

5 . DisplaySearch (米国の市場調査会社) 1 / 3 0

2011年におけるタブレットPCの市場は7270万台と推定。2017年には3億8330万台まで成長すると予測。

6 . University of Illinois (米国) 1 / 3 0

脳や心臓の状況をモニターする技術として、電子タトゥーを提案。インプラントのデバイスに比べて多くのメリット。

7 . 3M (米国の電子材料メーカー大手) 1 / 3 1

多層基板の埋込コンデンサー用銅張積層板で、高密度回路用のバージョンを商品化。

8 . Rutgers University (米国) 1 / 3 1

真空中で有機化合物結晶表面にポリマーを沈着させることにより、特異な界面現象を発現。プラスチック・エレクトロニクスのトランジスタへ道。

9 . Barclays Capital (米国の市場調査会社) 1 / 3 1

2012年における世界の銀需要は15,415トンに達すると予測。前年比で2.5%の増加。

10 . Apex Circuit (タイの基板メーカー) 2 / 1

現在建設中の新工場は今年の年末か、来年始めに稼働の予定。生産能力の増強に伴い、液晶パネル、自動車関連市場に進出の計画。

11 . IPC (米国の基板業界団体) 1 / 3 1

2011年12月における北米プリント基板業界のB/Bレシオは1.00まで上昇。しかしながら、前年同月比の受注、出荷はマイナス成長。

12 . Ecole Polytechnique (カナダの研究機関) 1 / 3 1

ウェアブル・エレクトロニクス用に、特殊な繊維を使ったフレキシブル・タッチスクリーンを提案。

13 . Western Digital (米国のHDDメーカー最大手) 2 / 2

タイ工場の洪水被害は60%まで回復。100%の回復は9月になる見込み。

14 . Xenterio (ドイツのEMS) 2 / 2

市場の回復が見込めないために、廃業を決断。従業員100名。1963年にAEG Telefunkenの製造部門として創業。

15 . Hon Hai (台湾のEMS最大手) 2 / 2

今後5年間で、ブラジルに新規に5工場を建設の計画。Apple社向けのiPadを生産。

16 . AUO (台湾のディスプレイメーカー大手) 2 / 2

日本の出光社とOLED製造について戦略的な提携。今年の第2四半期にはスマートフォン向けに4.3インチ製品の量産を開始。

17 . WSTS (半導体業界団体) 2 / 3

12月におけるヨーロッパの半導体市場は、前月比5.5%減少の28億ドル。2011年通期では374億ドルで1.7%の減少。

18 . SIA (米国半導体業界団体) 2 / 6

12月における世界の半導体出荷は238億ドルで前年同月比5.5%の減少。2011年通期では2995億ドルで0.4%の増加。

19 . Printca A/S (デンマークの基板メーカー) 2 / 6

1月31日に倒産の申請。

20 . IDC (米国の市場調査会社) 2 / 6

2011年第4四半期における世界のスマートフォン出荷は、前年同期比で55%増の1億58百万台。Apple社のiPhoneが大きく寄与。

(注) このヘッドライン・ニュース・レターは速報性を重視するために、若干の誤訳や数字の変換に誤りがある場合もございます。ご了承下さい。

DKNリサーチ
栄泰産業株式会社

最近のDKNリサーチの論文、出版物

下記URLをご覧ください。最近のものの一覧をみることができます。コピーライトの問題がないものは全文を閲覧することもできます。

<http://web.me.com/dnumakura/DKNRArchive/Articles/Archive.html>